

特別展

「韓日食博」

わかちあい・おもてなしのかたち」

日韓外交正常化50周年を記念して、韓国国立民俗博物館と共同で開催します。韓国と日本の「食」文化を五感で味わう新しい「食」の展覧会です。

会期 11月10日(火)まで
会場 特別展示館

◆関連イベント

「ワークショップ」

香りの体験「オリジナル七味づくり」

日時 9月5日(土)、26日(土)、10月3日(土)
①13時～14時、②14時30分～15時30分
会場 特別展示館地下休憩所(各回100名)
協力 エスシー食品株式会社

※申込不要、要特別展示観覧券、先着順
味わう体験「韓国の汁文化と発酵調味料」
日時 9月6日(日)、27日(日)、10月4日(日)
15時～16時
会場 職員食堂(各回36名)
司会 福岡奈美(フードコーディネーター・お茶の水女子大学専門食育士(上級))
※要事前申込、参加費500円、先着順、対象は高校生以上

みんなくxMBSラジオ presents

「韓日食博」を極める！」

ファッションモデルのアンミカさん、世界を旅する山中真アナウンサー、朝倉敏夫本館教授が特別展の魅力に迫ります。

日時 9月13日(日) 14時15分～15時30分
(13時45分開場予定)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、参加無料、先着順
食のオノマトペとカリグラフィ
日時 9月20日(日) 13時～15時
(集合12時50分)

会場 本館エントランスホール(定員10名)
※要事前申込、参加費500円、先着順、対象は小学5年生から大人まで
火おこし体験
日時 10月18日(日) ①11時～、②13時～、③14時30分～(各回1時間程度)

会場 特別展示館休憩所(予定)
会場 大阪ガス株式会社
協力 大阪ガス株式会社

株式会社大阪ガスビジネスクリエイト
※要事前申込、参加無料、先着順(各回10組。保護者1名につき子ども2名まで)、対象は小学生とその保護者

みんなく講演会 台湾文化光点計画講演会

「日本の客家——歴史と現在」

日本の客家が自身の歴史と現在を紹介します。
日時 9月6日(日) 13時30分
会場 本館第5セミナー室(定員90名)
※申込不要、参加無料、先着順

みんなく映画会 台湾映画鑑賞会

「二八九五」

日本が台湾を植民地とした1895年に台湾の客家が日本軍に抵抗した時の様子を客家語で描き出した映画を通じ、台湾文化への理解を深めます。
日時 9月23日(水)祝 13時30分～16時30分
(開場13時)
会場 本館講堂(定員450名)

※申込不要、参加無料、要展示観覧券
※当日11時から観覧券売場に整理券を配布

機関研究成果公開

「みんなく手話言語学フェスタ2015」

日時 9月20日(日)、21日(月・祝)
10時～17時5分(9時30分開場)
会場 本館講堂(定員300名)
言語 英語、日本語、アメリカ手話、日本語、香港手話
※懇親会 20日(日) 17時30分～19時30分(申込された方のみ・要会費)
※要事前申込、参加無料、先着順

みんなくミュージアムパートナーズ

「点字体験ワークショップ」

日時 9月12日(土) 12時～15時30分
会場 本館エントランスホール
※申込不要、参加無料

連続講座

「みんなくxナレッジキャピタル——世界の天然素材」

好評につき大阪・梅田のナレッジキャピタルで第3弾を開催！
時間 19時～20時30分
会場 グランフロント大阪北館1階 ナレッジキャピタル「カフェエラボ」
※要事前申込、参加費500円(1ドリンク付き)、定員各回50名

主催 国立民族学博物館

一般社団法人ナレッジキャピタル
10月22日(木)
講師 池谷和信(本館教授)
世界の鳥と人のかかわり——羽根の美しさ
を求めて
10月28日(水)
講師 日高真吾(本館准教授)
日本の漆器 世界の漆器

お申込み・お問い合わせ先
一般財団法人ナレッジキャピタル
06-6372-6530

カレッジシアター

「地球探究紀行」

みんなくの研究者が驚きと感動をお届けします。世界の文化の、奥深く、へこ緒にどうぞ。
時間 13時～14時30分
会場 あへのハルカス近鉄本店「スペース9」
※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費各回1000円

共催 産経新聞社、近鉄文化サロン、スペース9特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団
9月2日(水)
政府をフィールドワークする!?——明治以来の110年ぶりの大改革と日本の官僚文化
講師 出口正之(本館教授)

「聴き語り」の芸能——平家物語 誓女(ごせ)

9月16日(水)
唄からブルースまで
講師 広瀬浩二郎(本館准教授)

台湾のイノシシ猟——日本のイノシシ猟と比較しながら

9月30日(水)
講師 野林厚志(本館教授)

無料観覧日のお知らせ

9月12日(土)と9月21日(月・祝)は、本館展示と特別展を無料で観覧いただけます。ただし21日は自然文化園(有料区域)を通行される場合、入園料が必要です。

中央・北アジア、アイヌの文化展示リニユールのお知らせ

展示リニユール工事のため、中央・北アジア、アイヌの文化展示場を11月18日(水)から3月16日(水)まで閉鎖します。家屋模倣型アイヌの家は今回で見納めとなります。閉鎖前には是非ご来館ください。

みんなくセミナー

時間 13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)

第448回 9月19日(土)
博物館は食をどう展示するか——特別展「メイキング」
講師 朝倉敏夫(本館教授)
大野木啓人(京都造形芸術大学教授)
佐野睦夫(大阪工業大学教授)
金晃均(韓国芸術総合学校教授)



特別展「韓日食博」は、情報工学によるIT技術をもちいた体験型の展示情報メディアによる楽しめる展示にチャレンジします。この展示ができあがるまでの過程を一緒に展示を作りあげる研究者の仲間たちとともに語ります。

みんなくワークショップ・サロン

研究者(話者)

時間 14時30分～15時30分
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
本館の研究者が来館された皆様の前に登場します！
「研究について」「調査している地域(国)の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。

9月20日(日) 本館ナヒひろば

デジタル技術でモノ(文化資源)を測る
話者 寺村裕史(本館助教)
9月27日(日) 本館アフリカ展示場
アフリカ史の謎を解く
話者 竹沢尚一郎(本館教授)

巡回展「岩に刻まれた古代美術——アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリヤン」
会期 9月19日(土)～10月25日(日)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
会場 新潟県立歴史博物館
主催 新潟県立歴史博物館、新潟日報社

●ネパール大地震災害の救援募金について(お礼)

皆様のご協力により、ネパール大地震災害の救援募金が14万7109円集まりました。この募金は7月29日に郵便局から、日本赤十字社へ振替いたしました。皆様のご協力に対してお礼申し上げます。

※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

■八木百合子 著

『アンデスの聖人信仰』

——人の移動が織りなす文化のダイナミズム』



臨川書店 3,600円(税抜)
20世紀後半、土地問題やテロリズムなどの影響により、都市への人口移動が進んだアンデス農村。本書はそうした大きな社会変動を経験したアンデスの人びとが、村落と都市とのあいだで、自分たちの村の聖人信仰を力強く発展させてきた姿を描いたものである。

刊行物紹介

■西尾哲夫 著

『言葉から文化を読む』

——アラビアンナイトの言語世界』



臨川書店 2,000円(税抜)
中東イスラーム世界の深部を探る知的冒険の記録。既存の理論では読み解けない現象を前に、言語学者は何を感じ、どう行動したのか。アラビアンナイト、ペーダニス、シェイクスピア……言語学のフィールド調査が拓く壮大な研究世界！

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室(定員96名)
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般500円
第447回 10月3日(土) 14時～16時
「医食同源」の思想——中国の食と漢方

講師 池谷幸信(立命館大学特任教授)
漢方医学は、古代中国医学が5、6世紀頃伝来し、日本の風土や日本人の体質に合わせて独自に発展した日本の伝統医学です。「医食同源」ということはが示すとおり、漢方のルーツとなる古代中国医学は、食べ物が体を養う最大の薬であるとしており、漢方薬を構成する生薬の多くは、食べ物となっている植物由来です。中国の医食同源の考え方からどのように漢方薬が生まれたのか、さらに現在注目されている漢方薬についても紹介します。

●講義と併せ、漢方の煎じ方、丸剤の成形の実演もご覧いただけます。
第448回 11月7日(土) 14時～16時
移住がつくる客家の食

講師 河合洋尚(本館助教)

会場 JICA地球ひろば セミナールーム600
定員 60名(要事前申込、会員無料・一般500円)
第114回 10月10日(土) 14時～16時
「チョコレート」の文化誌——カカオと人の4000年の物語

講師 八杉佳穂(本館名誉教授)
私たちに至福の時をもたらす甘いお菓子「チョコレート」。その原料となるカカオは、メソアメリカに起源をもち、4000年前には栽培されていたことがわかっています。薬や貨幣的価値をもち、交易や貢納の品として珍重され、またスペイン人が進出する以前は飲料として嗜まれ、高貴な人のみで口にするのできる貴重品でした。本講演会では、16世紀以前のメソアメリカにおけるカカオ利用を中心に、現代のチョコレートに至るカカオと人の長くて深い関係を概観します。

●第86回民族学研修の旅関連企画です。
第71回体験セミナー

九州のなかの朝鮮文化を歩く——菓子、工芸、史跡にさぐる関係史

日時: 12月2日(水)、3日(木) 訪問先: 佐賀県